

# 記入例

令和 7 年 月 日

## 川崎市幸区社会福祉協議会 令和 7 年度 グループ・団体活動助成申請書

グループ・団体名 **さいけいほうらんていあかい 幸 ボランティアの会**

代表者氏名 **川崎 花子** 印

代表者住所 (〒212-0023) **幸区戸手本町1-11-5**

連絡先 (TEL) **556-5500** (Fax) **556-557**

結果通知送付先 (代表者と異なる場合) 氏名 **幸 夢子**

住所 (〒211-0052) **幸区古市場 000**

【連絡担当者: **佐藤太郎** 連絡先/ **000-0000** (Tel・FAX)】

1 申請金額

**金 15,000 -**

助成対象額内で御記入ください

- ・会員対象事業・事務費 3 万円以内
- ・会員外対象の講座や行事 5 万円以内
- ・その他審査にて協議

2 分類 (該当に○) **ボランティアグループ/当事者団**

3 助成金を申請する活動内容 (該当事業に○をつけてください)

該当に○	区分	具体的内容
	会員対象の事業、会運営の 機材購入等事務費 (上限 3 万円)	学校で行う福祉教育授業へ 講師として、協力する際の 配布資料・勉強会ほか 関係経費 (通年)
○	会員外も対象とする講座や (上限 5 万円)	
	その他 ( )	

同額を記入

4 上記の事業の収支予算内訳

注※ 全体の収支ではなく、助成申請し(活動)についてのみの収支を記載

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費・グループ負担金	<b>10,000</b>	消耗品費 (備品購入)	<b>13,000</b> 円
区社協助成申請額	<b>15,000</b> 円	印刷・製本費	<b>3,000</b> 円
その他助成金 ( )	<b>0</b> 円	旅費 (400 円×10 人)	<b>4,000</b> 円
学校より	<b>5,000</b> 円	講師謝礼 (勉強会)	<b>10,000</b> 円
	円		
前年度繰越金	<b>5,000</b> 円	次年度繰越金	<b>5,000</b> 円,
合 計	<b>35,000</b> 円	同額となります	<b>35,000</b> 円

※記入欄が足りない場合は別途予算書を添付してください。

5 グループ・団体の概要

発足年月日	昭和・平成・令和	15年	4月	1日	(活動年数	22年	0カ月)
会員数	25名 (ボランティア 25名・当事者 名・その他 名)						
	※幸区在住会員 : 15名・その他 : 10名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">名簿添付</span>						
会費	: 500円 (参加毎・月額・年額)						
活動拠点	福祉パルさいわい						グループ団体が、活動や会議等で使用している場所を記入
活動日	毎月第1水曜日 ほか、相談の上で依頼日に活動						
活動対象(者)	地域の方全般(教育機関、企業含む)						
会の目的	出来るときに出来ることを！をスローガンに掲げ、地域に根差したボランティア活動を行う。						
活動内容	毎月第1水曜日定例会。高齢者の付き添い、保育ボランティア、障害児の送迎など。 また、小学校や企業の福祉教育授業で、ゲストティチャーとして講師や車椅子体験などの講師を行うことで会員も学び、たくさんの福祉の芽がでるよう積極的に活動している。						今年度の活動計画も含めて記入

6 添付書類 (必須)

事業計画書 ・ 予算書 (グループ・団体全体の予算書)  
前年度事業報告 ・ 前年度決算書 ・ 会則 (定款) ・ 会員名簿

7 助成金活用により期待される事業実施の効果

**小学校や企業の福祉教育授業において、ゲストティチャーや車椅子体験など協力を積極的に行うことで、会の活動の広報のみでなく、地域にたくさんの福祉の芽がでるよう種をまく活動を実施していきます。  
福祉の一旦を支えるグループとして、次の時代を担う子どもたちや現役世代に自分たちの経験を伝えていくことで、波及できるものがあると考えます。**

《 参考 》

学校等における福祉学習・講座の講師協力は 可能 / 不可能

※助成決定後に窓口交付となります。この書類は必ず写しを取り保管してください。